

# 広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004  
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

### 町の人口

人口	9,650人	(増8)
男	4,595人	(減3)
女	5,055人	(増11)
世帯数	3,137世帯	(減8)
出生	11人	転入 35人
死亡	5人	転出 33人

(昭和57年5月末日現在)



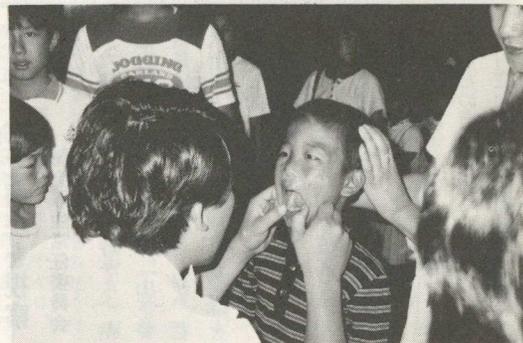
【スパイクヒット 9・10支所対18支所戦】

## 9支所(男子) 伏原(女子)が優勝 第17回町民バレーボール大会

6月13日(日)、町民会館と市場小学校体育館で、第17回町民バレーボール大会が行われました。

同大会は、回を重ねるごとに白熱化し、選手、応援者とも地域が一丸となって熱戦を展開、男女とも前年の覇者、9支所と伏原がそれぞれ優勝しました。

(結果は、2面に掲載)



【アーンしてむし歯はないかな?】

## 歯みがき大会に250人が参加

6月6日(日)午前9時から、同和対策中央研修所で約250人が参加して「健康づくり歯みがき大会」が行われました。これは6月の歯の衛生週間にちなみ実施されたもので田川歯科医師会、歯科衛生士会の先生による検診の結果、次の10人の方が優良な歯の持ち主として表彰されました。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| ▷佐藤 康一(中1)  | ▷宇都宮 雅人(小2) | ▷瓜生田 亜希(小4) |
| ▷志賀 喜則(小6)  | ▷緒方 誠(小6)   | ▷山崎 亜希(小2)  |
| ▷藤 剛人(小5)   | ▷植田 由美子(小6) | [敬称略]       |
| ▷長谷川あすか(小4) | ▷長峰 博文(小5)  |             |

57年

# 7月

№.234

## 守れ人権 同和問題啓発強調月間

7月1日～7月31日

同和問題をみんなで考えましょう。赤池町では次のとおり月間中の行事を予定しています。

- ◇7月1日・10日・20日 街頭啓発活動
- ◇7月15日(木) 地区公民館長等研修会(中央研修所、19時30分より)
- ◇7月17日(土) 同推協幹事等研修会(中央研修所、13時より)
- ◇7月24日(土) 全町民対象講演会(中央研修所、13時より)

許すな差別

29日(木)	27日(火)	23日(金)	21日(水)	20日(火)	19日(月)	17日(土)	16日(金)	15日(木)	12日(月)	7日(水)	6日(火)	4日(日)	2日(金)	1日(木)										
土用の丑	心配ごと相談(センター)	大暑	三種混合(町民会館)	町民プール開き	婦人学級(町民会館)	ヤングサロン(町民会館)	土用・海の記念日	ヤングサロン(町民会館)	乳児保育相談(町民会館)	勤労青少年の日	心配ごと相談(センター)	やぶいり・初伏	孟蘭盆・中元	孟蘭盆・中元	願書受付(まで)	町職員採用試験受験	心配ごと相談(センター)	七夕・小暑	ヤングサロン(町民会館)	婦人学級(町民会館)	支所別軟式野球大会	半夏生	国民安全の日・第32回社会を明るくする運動(まで)・青少年を非行から守る全国強調月間(まで)	和名 文月(ふみづき)

7月の  
こよみと行事

# 議会だより

## 一般会計予算総額 38億3,540万円に

昭和五十七年第四回五月臨時町議会は、五月二十七日、一日の会期で行われ、次の二議案が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

◎昭和五十七年度赤池町一般会計補正予算 五千七百八十八万二千円の追加補正で、予算総額三十八億三千五百四

十万二千円となりました。住宅団地内道路改良舗装工事費で三千八百万円。同団地は、整備後、この単価を加えて今年度中に売却予定で。

過年度災害工事一千九百八十万二千円は、昭和五十六年度予算において繰越明許をしていた個所の追加補助認定がなされたので、補正されました。

◎工事請負契約の締結 昭和五十七年度過疎対策事業赤池総合住宅団地道路舗装工事の工事予定価格の金額が三千万円を下らないため

## 町職員(現業職)の採用試験

7月31日(土)に実施

現在、当町は、自主財政再建に向けて懸命の努力をしているところであり、特に単独事業(国県補助金のつかない事業)や、人件費物件費等の削減をはかっている現状から、職員の補充は、できるだけ行わないことにしています。

しかし、昭和五十五年(十三人)、昭和五十六年度(五人)に職員の退職勧奨等で、十八人の職員が退職し、これに伴い学校、老人ホーム天郷荘、町立病院の現業部門に勤務交替、あるいは、職務内容等で補充をしなくてはならない職場が生じ、今回、職員(現業職)の採用試験を次のとおり実施

▽受験資格 町内在住者で、昭和二十一年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生れた女子

▽試験日 七月三十一日(土) 午前九時半から 町民会館

▽試験内容 教養試験・作文・面接試験

▽提出書類 ①申込書(役場総務課に用意) ②住民票謄本一通 ③健康診断書一通 ④写真二枚(証明書用) ⑤在学証明書(就学中の人のみ)

▽採用予定人員 若干名

▽願書受付期間 七月十二日から七月二十四日まで

詳しくは回覧板をご覧ください。



町立病院を視察する厚生常任委員会の議員さん

## 老人ホーム

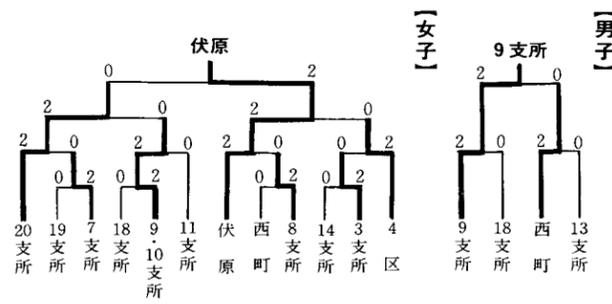
### 町立病院を視察 議会厚生常任委員会

六月四日(金)、午前十時から、赤池町議会厚生常任委員会(山下委員長ほか五人)の議員さんが、老人ホーム天郷荘および町立病院を視察しました。

天郷荘の現在の入荘者は五組の夫婦の方を含め、四十五人ですが施設の老朽により雨漏り等、かなりの修理箇所や、また、直射日光が当たる部屋もあり、何とかしてほしいとの要望がありました。

町立病院では、施設の視察および医療機器、厨房設備等の説明がなされ、耐用年数の過ぎたもの、不良機器等が相当数あり、改善の必要があるとの要望がありました。施設の見学後、各職場の代表者と交流会を行い、老人ホームではお年寄りの処遇問題や施設の改善等、病院では医師不足の解消、医療器具の改善、給食職員欠員問題等の意見交換が行われました。今後、病院問題全体については、町議会と職員との交流を進めていくことを確認。午前三時半に終了しました。

## 第17回町民バレーボール大会結果



## 節水のご協力を!!

水の大切さは、今さらいうまでもありません。もし、水道の水が止まったら、私たちの生活は即座にマヒします。家庭で、学校で、病院で、工場でいたるところで立ち往生ということになります。その半面、私たちは水道の便利さに慣れて、ややもすると断水に水がありがたみをそれほど感じないで暮らしています。ちょうど健康なときは健康のありがたさを意識しないのと同じように……。

今年も厳しい暑さが予測されており、このため水の使用量が急激に増加し、各家庭に給水している水の量が不足し断水等の恐れがあります。道路、屋敷内等の散水はさけて下さい。炊事、洗濯等又、車の洗車などについても極力節水されますようお願い致します。なお、水道管の漏水を発見したら、役場水道課までご連絡下さいますよう重ねてお願い致します。

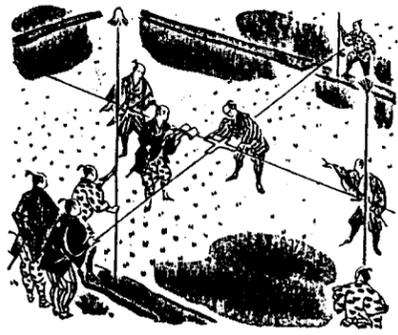
水道課

こんなムダが……

赤水の水 1時間 約8リットル  
ポタポタ水 1時間 約1リットル

# 差別をなくすため

(4)



## (6)戦国の世の中

前回は、中世(鎌倉・室町)の賤民として「散所の民」「河原者」といわれたいやしられた人たちがいたことをのべましたが、今回は、戦国時代から豊臣秀吉の天下統一についてのべます。

応仁の乱(一四六七〜一四七七年)から本能寺の変(一五八二年)までの約百年間は、世の中が非常に乱れた時代でした。

また、人々はそれぞれ自分の力をたのみにして、国づくり、村づくり

## 農地の広さをはかっています。

につとめるといふ 気力のみなきた 日本の上もつとも活気にあふれた時でした。実力と才能があれば、だれでも一國一城のあるじになれる「下剋上」(下の者が上の者をさしおいて勢力をふるうこと)の時代でした。貧しい百姓の子から天下を統一した豊臣秀吉をはじめ諸国の大名になった

○小西行長 薬屋の出身

○加藤清正 かじ屋の出身

○福島正則 おけ屋の出身

○北条早雲 浪人出身

○斎藤道三 油売りの出身

など、その当時ではいやしいとされていた身分の人たちでした。このように、いやしいとされてきた人たちが百姓や商人、武士にかわっていきました。

また一方では、貴族や豪族、武士があらそいに負けておちぶれていくなど、身分の入れかわりは

## (7)天下統一と差別のめばえ

豊臣秀吉が全国を統一したことによって、はげしくゆれ動いた戦国時代もいっぺんおさまりました。秀吉は、自分が低い身分の出身だけに、人びとが団結することをおそろしさをよく知っています。

そこで、『刀狩り』(一五八八年)といって、農民が武器をもつて一揆などをおこすのをふせぐために、全国の農民から刀ややり、鉄砲などの武器をとりあげました。これによって、武士と農民の身分が、はつきり区別されました。また、税のとりたてをたしかにするため、全国の田畑の面積をはかりなおし、作物の取れ高を調べ田畑を耕作する人をはつきりさせました。それをもとにして、年貢をとりたてることにしました。これを検地といっています。

年表	
1200	1800
1300	1700
1400	1600
1500	1500
1600	1400
1700	1300
1800	1200

封建制 社会 封鎖期 完成期

中世 近世

鎌倉時代 室町時代 安土・山崎時代 江戸時代

戦国時代

大正9年3月 政府、米作ら「水平社創立事務所」をつくる

同11年3月3日 全国水産改良大会が京都・岡崎公会堂で開かれる

同25日 別府市皇族のお召し列車通

同10年7月 佐野 学解放誌上に「特殊部落民解放論」を発表

同11年 奈良県の本本 郎、黒田長政300年祭から焼き打ちにあう

清一郎、西光万吉、駒井喜に反対し「我輩叫車団」を

解放運動の歩み

## 同和問題 啓発元年としよう!!

57年第1回同和協幹事会

赤池町における同和教育を推進する中心的団体、同和教育推進協議会(香月章会長)の第一回幹事会が六月九日、中央研修所で開催され、本年度の活動方針が次のとおり決まりました。

- ①同和教育を積極的に進める多くの指導者、理解者の発掘と、指導者の養成に努める。
- ②同和協の活性化をはかるため専門部会を設置し、活動の長期、中期、年次計画を早急にたてる
- ③同和問題を町民一人ひとりのものにするため、地域の実情にあった内容で、多くの住民が参加する息の長い懇談会を開催する。
- ④広報活動を充実して住民に理解と認識をより深める広報活動を進める。

同推協五十七年度事業

- 同推協幹事研修会 七月十七日(土)
- 支所長・駐在員ブロック別研修会(支所長駐在員会議で決定)
- 地区公民館指導者等研修会 七月十五日(木)
- 社会教育関係団体別研修会(各団体別に決定する)
- 職域・企業別研修会(各職域、企業で決定)
- 地区懇談会の開催(七月より)